

## Information ご利用案内

★プラネタリウム投影開始時刻(1回の投影時間は、約50分間です。)

	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目
平日	9:50 (団体専用)	11:10	13:10	14:30	15:50
土・日・祝日	9:50	11:10 (予約受付終了)	13:10	14:30	15:50

※学校長期休暇中の平日は、第1回目9:50も投影します。

### ★休館日

毎週月曜日・第2火曜日・年末年始  
ただし、月曜日が国民の休日・祝日となる日は開館し、翌日が休館となります。

※6月10日(火)は臨時開館し、無料開放します。

※8月11日(月)、12日(火)は臨時開館します。

### ★開館時間

午前9時30分より午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

### ★観覧料

	大人(高校生以下無料)
一般	700円
団体(30人以上100人未満)	630円
団体(100人以上)	560円
年間パスポート	2,000円

※年間パスポートは購入時から1年間、何度でもご利用いただけます。

※コンサートイベント等には別途料金が必要な場合があります。

※高齢者割引、身障者割引を行っています。

### ★駐車場

普通自動車・マイクロバス(2時間まで):200円(約90台)(以降1時間超ごと100円)・バス(1回):1,500円(大型バス8台)

### ★施設概要

日本標準時の基準となる東経135度子午線の通過地に建てられた「時と宇宙の博物館」です。プラネタリウムは現役では日本最古、稼働期間も日本一です。



- JR 明石駅下車 東へ1km(徒歩約15分)
- 山陽電鉄丸前駅下車 北へ約0.2km(徒歩約3分)
- 車では国道2号線丸前交差点から北へ約0.2km
- 第二神明道路 大蔵谷ICから南西へ約3km
- 明石海峡大橋からは垂水出口を左折し、約6kmで国道2号線へ。国道2号線を西へ約4km(約20分)

### 時と宇宙の博物館 明石市立天文科学館

http://www.am12.jp/  
携帯サイト http://www.am12.jp/i/  
ツイッター @jstm135e  
〒673-0877 兵庫県明石市人丸町2-6  
TEL.078-919-5000/FAX.078-919-6000  
e-mail: info@am12.jp



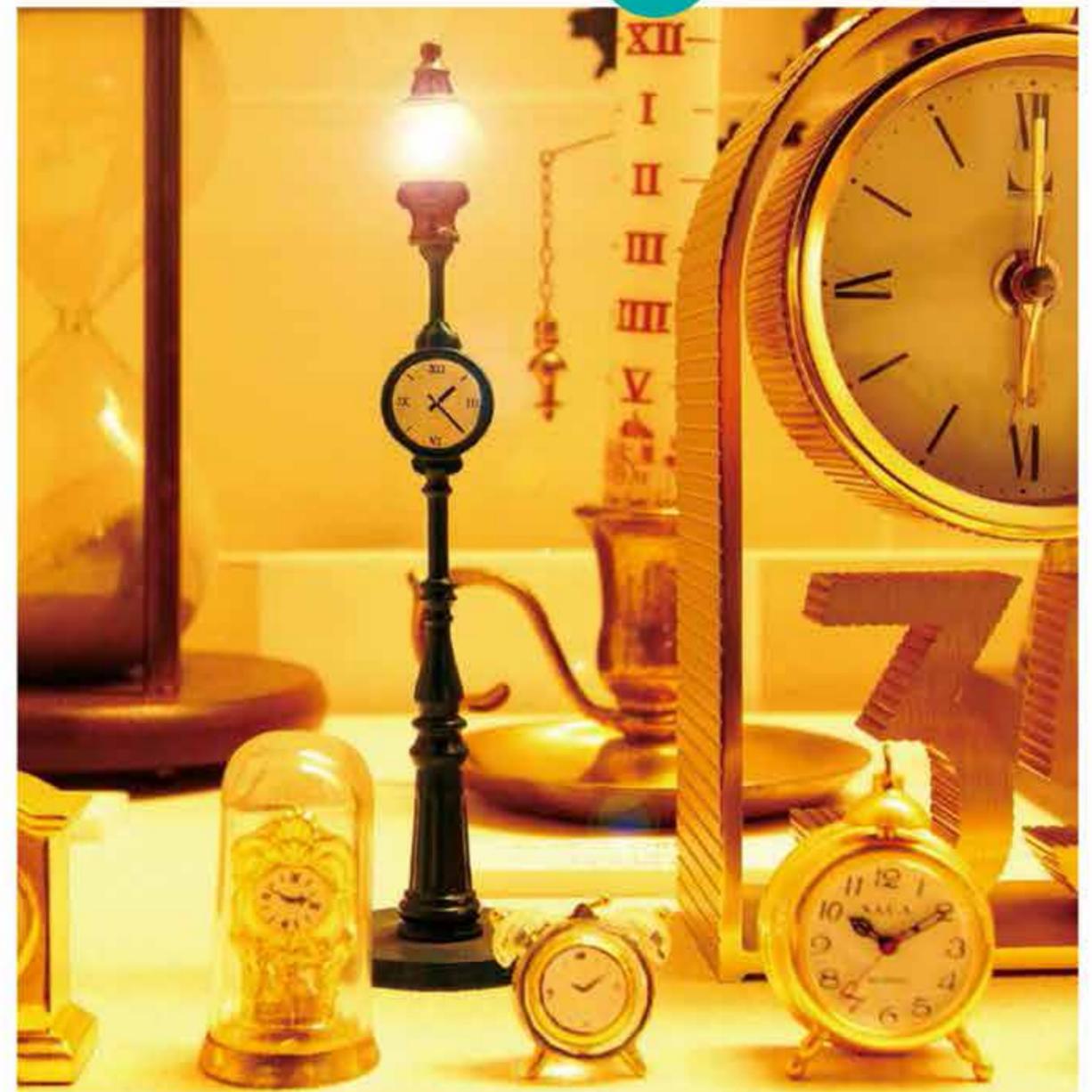
星空のレシピ

VOL. 319 2014 7月号

明石市立天文科学館 広報誌「星空のレシピ」 時と宇宙を88倍楽しむお料理MOOK



特集: 時の記念日 大研究



# SEIKO セイコー電波クロックは、 いつでも「日本標準時」を刻みます。

## セイコー電波クロックは、時刻合わせのいらぬ時計!

テレビや電話の時刻情報と同じ「日本標準時」をのせた電波を時計内のアンテナでキャッチ。毎日時刻を自動修正します。

## 電池を入れたら、自動的に時刻合わせがスタート!

電池をポンと入れるだけ。自動的に日本標準時に修正します。



### 掛時計 安心ライト

#### 揺れを感知してライト点灯

暗闇での地震でも周囲を照らして心強い! さらに暗い時に時刻を読み取りやすい光センサーライトも搭載!



KX350B 税込14,700円  
直径300x67mm 1.3kg

### 掛時計 薄型ソーラープラス

#### 光エネルギーで動くソーラー

明るい場所なら光エネルギーだけで動き続けます。すっきりとした、薄型タイプの掛時計です。



SOLAR+  
SF505W 税込26,250円  
直径315x36mm 1.2kg  
\*グリーン購入法対応

### 掛時計 温度、湿度、カレンダー付 便利な情報一括表示!

正確な日付、曜日、時刻に加えて、お部屋や健康管理にも役立つ温度、湿度も表示。



KX352B 税込8,925円  
直径350x45mm 1.4kg

●掲載商品の価格はすべてメーカー希望小売価格です。●電波は地域、地形、建物、天候、時間帯、設置場所により受信できない場合があります。●電波を受信してから次に受信するまでの間は、クォーツの精度で動作します。

http://www.seiko-clock.co.jp セイコークロック株式会社

★ 星空のレシピ VOL.319 平成26(2014)年7月1日発行  
★ 発行/明石市立天文科学館 〒673-0877 明石市人丸町2-6 TEL.078-919-5000



# とき 時の記念日 大研究

## 6月10日は「時の記念日」

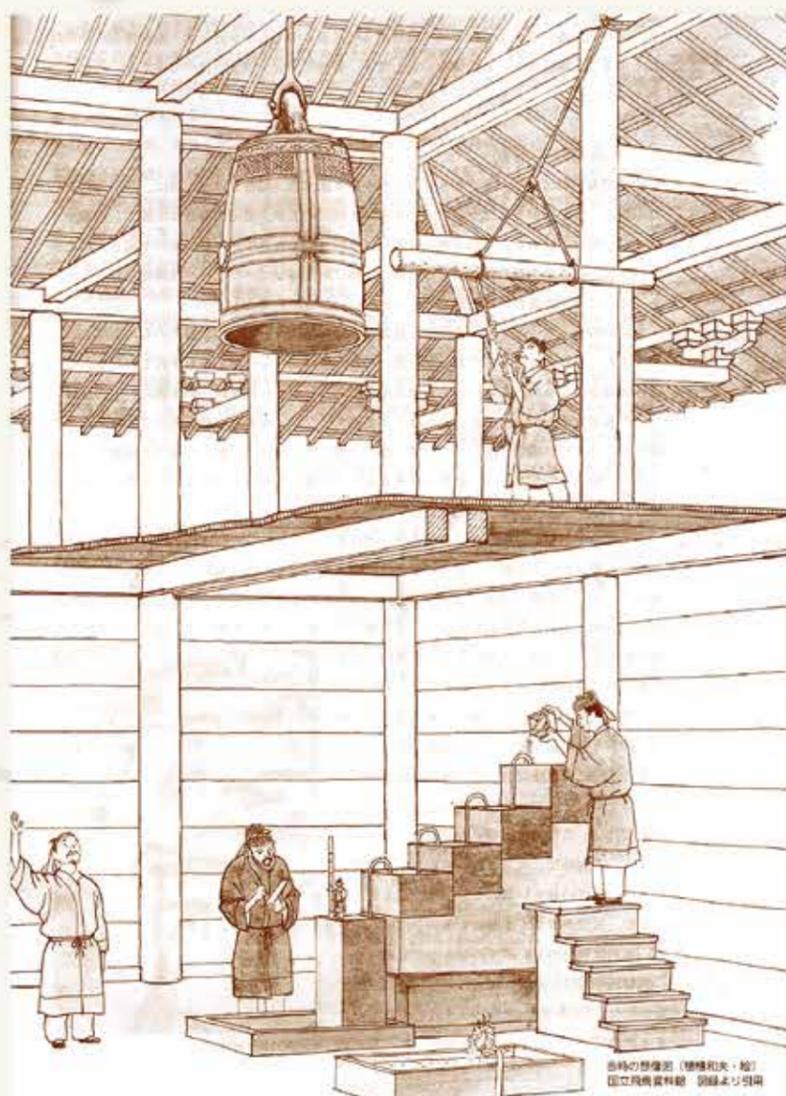
明石市立天文科学館は昭和35(1960)年6月10日に開館しました。

毎年、時の記念日には無料開放し、長い行列ができます。しかし、時の記念日の誕生のいきさつや由来などを知っている人はあまり多くないのではないのでしょうか。

今回の特集は「時の記念日」を研究します。

## ? なぜ6月10日が時の記念日?

日本で最初に時を知らせた故事に由来しています。日本書紀には天智天皇10(671)年6月10日、天智天皇が漏刻(水時計)で時を知らせた記録があります。



### 日本最古の時計

日本書紀に「皇太子が初め漏刻を造り、人々に時刻を知らせた。」とあり、これが日本最古の時報システムとされています。

左のイラストは当時の時計を活用する様子で、地下に配水設備、一階には水時計、二階には都中へ時を告げる鐘や時刻補正のための天文観測の装置があったと考えられています。現代の時計に比べ随分大掛かりな設備で、常に複数の漏刻博士が管理に携わっていました。彼らは正に「時の番人」と言えるでしょう。



「時の番人」漏刻博士に扮した当館スタッフと当館展示の「漏刻」

## ? いつ決められたの?

時の記念日が定まったのは大正9(1920)年のこと。この年の5月16日から7月4日まで、東京お茶の水の教育博物館(現在の国立科学博物館の前身)にて開催された、「時」展覧会が大盛況であったことが契機となりました。

## 時の記念日の誕生(「時」展覧会)

東京教育博物館は、「日本の博物館の父」と呼ばれる榎橋源太郎が館長を務めた博物館です。明治の初めに作られ、元々は学校教育のための教材を研究し提供していましたが、大正期になると大衆の教育を強く意識した通俗教育(現在の言葉で社会教育)を意識した展覧会を行うようになりました。これは現在、日本全国の博物館で行われている特別展の源流です。大正5(1916)年の「コレラ病予防通俗展覧会」をはじめとし、「食品衛生経済展覧会(大正7(1918)年)」、「廃物利用展覧会(大正7(1918)年)」、「災害防止展覧会(大正8(1919)年)」、「生活改善展覧会(大正8(1919)年)」など一連の展覧会は科学知識の普及と生活の改善を目的とし、社会的反響は大きいものでした。展覧会が契機となり、「生活改善同盟会」が発足。会長に伊藤博文、役員に渋沢栄一、榎橋源太郎ら加わり、政界、財界、教育界の力が結集した団体となりました。生活改善同盟会は日常生活改善の10項目を挙げ実践と研究を行いました。第一に「時間を正確に守ること」を掲げました。

大正9(1920)年に文部省が「時」展覧会を企画すると、同会は大いに賛同、出品の援助をおこない、大正9(1920)年5月16日(日)から時展覧会が実施されました。出品は、東京天文台、逓信博物館、海軍水路部、中央气象台などの国立機関、東京帝国大学、岸和田中学校、など教育機関、その他団体個人など数十に及び、内容はかつてない充実したものになりました。展覧会を見た人からのくちコミで展覧会場は連日大盛況となりました。当初は1カ月の予定だった展覧会の会期を延長し、約7週間、43日間にわたり開催されました。時展覧会は通俗展覧会としては過去最高となる入場者22万人を動員しました。これは日本の博物館の歴史の中でも画期的な出来事でした。時展覧会の内容は、日本天文学会の天文月報に3カ月にわたり大変詳しく紹介されたほか、一般向けには、南光社が「誌上時展覧会」という書籍を発行、展覧会を見学できなかった遠隔地の人々もこれを読んで大いに楽しみました。

時展覧会の会期中に、セレモニーを実施して時間尊重の宣伝を行うことを目的に、時の記念日が提案されました。主催者の間でこの議論が起きると、生活改善同盟会は即座に賛同し、結果としてこの記念日は同会が実施することになりました。



南光社から発行された「最新変動教材集録 臨時号 誌上時展覧会」



「時」展覧会に出品された「婦人一生のお化粧時間」他にも珍しい時計や天体観測機器など、貴重な資料が多数出品されていたようです。



「時」展覧会を期に発行された印刷物 発行点数の多さからも、当時の関心の高さが伺えます。

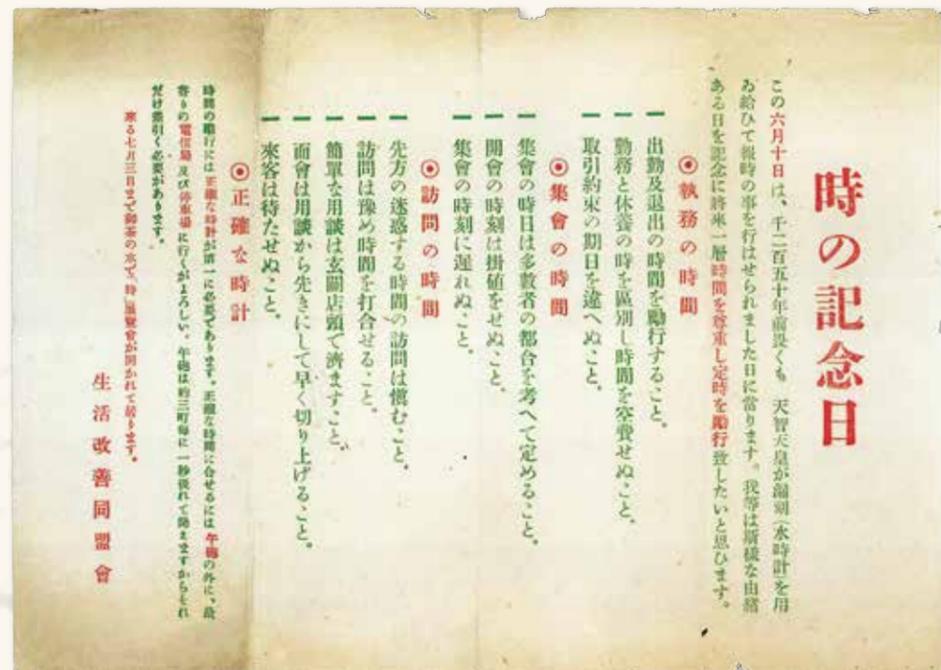
## 最初の時の記念日 (大正9(1920)年)

最初の時の記念日。時間尊重の宣伝として当日及びその前日に下のようなピラを5万枚、銀座、日本橋、日比谷、上野、浅草等、東京市内目貫の場所10か所で一般市民に配布されました。ピラを配布したのは日本女子商業学校、淑徳女学校、東洋高等女学校、千代田高等女学校、東京家政女学校、芝中学校の生徒と、深川小学校夫人同窓会及び東京少年団団員でした。また、記念日の当日はピラを配ると同時に市内の浅草、上野、須田町、日本橋、銀座の5か所で天文台から持ち出した標準時計(クロノメーター)を据え付け、通行人に「正しい時刻にお合わせ下さい」とすすめて各自所有の時計を合わせさせました。深川小学校の婦人同窓会会員、芝中学校の生徒、東京少年団団員が天文台の河合技師ほかの指導の下に主としてこの役にあたりました。

時の記念日の正午には東京全市に正午の大砲が鳴り、工場や事務所の汽笛が鳴り、ニコライ堂の鐘が打ち鳴らされ、しばらくの間、響きの都になったそうです。講演会も開催されました。また、歌舞伎役者坂東彦三郎が自家用車に標準時計と望遠鏡を積み込み、午前8時半から二時間東京天文台の河合技師と一緒に市内の主な大時計を点検し、遅れ進みを報告しています。時の記念日の催しは各地で行われました。



時の記念日の正午に風船を上げる学生たち  
東京の東京教育博物館にて  
(提供/セイコーミュージアム)



「時の記念日」の前日と当日に、街頭で配られたピラ

現在では、「時間に正確」と海外から評価されることの多い日本ですが、当時は時間に対する意識がそれほど高くなかったようです。欧米の先進国からも『日本人は時間の感覚に乏しい』とされていたようで、時の記念日をきっかけに時間に関心を持つことで、国民全体に規律正しく効率的な生活を習慣づけ、先進諸国に追いつこうという狙いがあったようです。



時の記念日にピラを配る女学生たち  
(1920年「誌上時展覧会」より)

(提供:佐々木 勝浩)

## 現在、 日本各地で行われている 時の記念日の行事

### 兵庫県明石市

#### 天文学館 無料開放、 子午線通過記念証配布

昭和2(1927)年には、「時の観念を助長せしめる意味において」、明石市が中崎海岸で活動写真の映写会を開いていた記録があります。天文学館は昭和35(1960)年6月10日に開館しています。昭和39(1964)年からは子午線通過証を配布しています。

現在では、明石市や時感動推進会議などが中心になり、6月10日の天文学館無料開放など、様々な行事が行われています。



▲6月10日の天文学館のようす

### 滋賀県大津市

#### 近江神宮 漏刻祭

天智天皇を祭る近江神宮では、昭和16(1941)年の時の記念日に、第1回近江神宮漏刻祭が行われました。その後、例年の行事として行われています。時計メーカーがその年の時計を奉納するなど大きな行事となっています。境内には時計館宝物館があり、和時計など貴重な資料も展示してあります。



▲漏刻祭のようす (提供:近江神宮)



★他にも各地で行われている「時の記念日」の行事をご存知の方は、天文学館までお知らせください。

### 静岡県掛川市 掛川城御殿 太鼓打ち鳴らし式

安政2(1855)年8月、当時の掛川藩の藩主であった太田氏により、時間を告げることを目的として、「報刻の大太鼓」が製作されました。この太鼓によって時間を告げるという慣習は、明治の中頃まで続いています。昭和32(1957)年より、「時の記念日太鼓打ち鳴らし式」が開催されています。掛川城御殿に展示してある「報刻の大太鼓」を正午に打ち鳴らし、時間の大切さを知ってもらう行事です。



太鼓打ち鳴らし式のようす▶ (提供:掛川観光協会)

## 日本の時計の博物館

### ● 国立科学博物館

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20  
Tel.03-5777-8600  
日本を代表する科学博物館。時計展示も多数あります。

### ● セイコーミュージアム

〒131-0032 東京都墨田区東向島3丁目9-7  
Tel.03-3610-6248  
セイコーの時計を中心に和時計や貴重な時計資料を展示しています。

### ● 大名時計博物館

〒110-0001 東京都台東区谷中2丁目1-27  
Tel.03-3821-6913  
陶芸家、故上口愚朗が生涯にわたり収集。「財団法人上口和時計保存協会」を勝山藩の下屋敷跡に設立し、昭和49年に開館した博物館です。

### ● 松本市時計博物館

〒390-0811 長野県松本市中央1丁目21-15  
Tel.0263-36-0969  
本田親蔵氏のコレクション中心に展示されている時計のほとんどが動いています。

### ● 登内時計記念博物館

〒399-4501 長野県伊那市西箕輪1938-88  
Tel.0265-72-2500

### ● 諏訪湖時の科学館 儀象堂

〒393-0015 長野県諏訪郡下諏訪町立町3289  
Tel.0266-27-0001  
900年の時を超えて、水力で動く大型の天文観測時計塔・水分儀象台があります。

### ● 福山自動車時計博物館

〒720-0073 広島県福山市北吉津町3-1-22  
Tel.084-922-8188

## 時に関する研究機関

### ● 情報通信研究機構(NICT)

東京都小金井市にある日本標準時を決定配信する機関。一般向けの展示室もあります。

### ● 国立天文台(NAOJ)

本部は東京都三鷹市にあるが、時刻保持の業務は岩手県水沢でおこなっています。

### ● 山口大学 時間学研究所

時間に対しての様々な切り口で研究を行っています。

### ● 日本時間学会

ホームページ  
<http://timestudies.net/>

2020年は「時の記念日」誕生から100年です





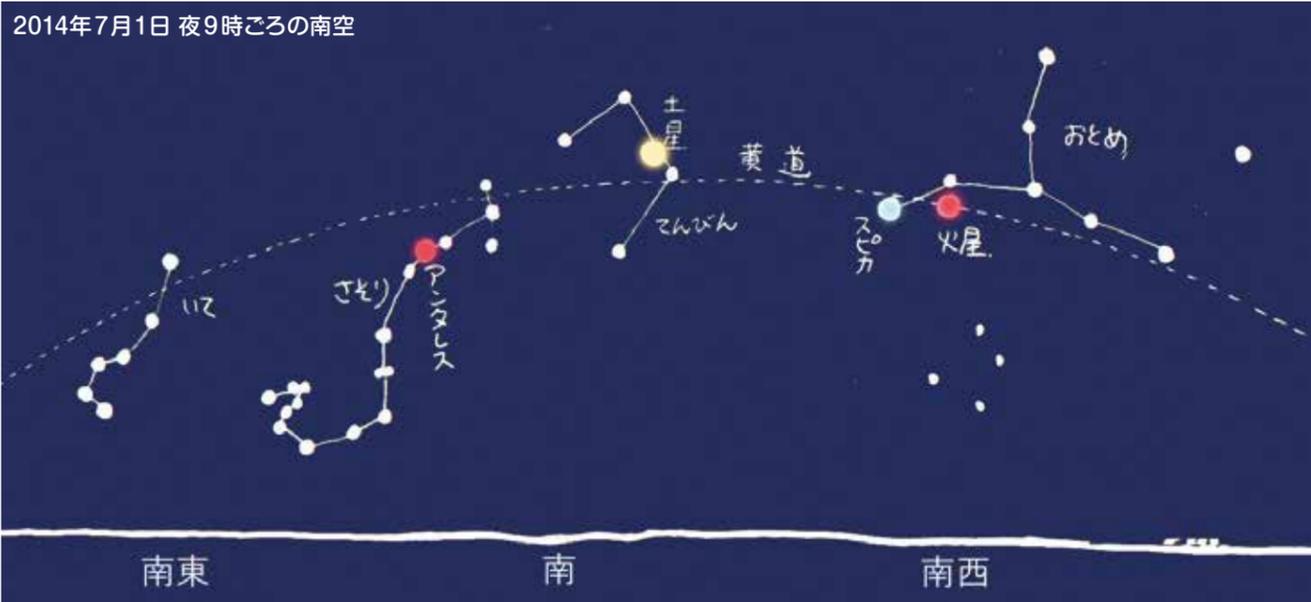
# おしながき 今夜の星空献立表

## 惑星と恒星



夜空にはたくさんの星が輝いています。その輝きは2種に分けることができます。一つは自ら熱や光を出す星で、恒星といいます。太陽も恒星です。太陽は地球に大変近いので、非常に明るく輝きます。星座を形作る星もすべて恒星です。恒星は、太陽のように猛烈に輝いているのですが、あまりに遠くにあるために小さな光の点に見えます。

もう一つは、太陽の光を反射して光る星です。太陽以外の太陽系の天体はすべて自分では光らず、太陽の光を浴びて光ります。その代表が惑星です。



上の図は2014年7月1日夜9時ごろの南空です。惑星は黄道（太陽の通り道）付近に見えます。天体望遠鏡で見ると惑星は丸く表面の様が見えます。恒星はいくら拡大しても光の点で、その表面を見ることはできません。

じっくり観察すると肉眼でも違いに気づくことができます。恒星はきらきらと瞬きますが、惑星は落ち着いてあまり瞬きません。このような違いを知って観察するのも楽しいでしょう。

また、黄道のおよその位置を知ることができます。ぜひ実際の空で確かめてみてください。

恒星と惑星の瞬きのちがいを



## ★ イベントレポート

### ★ プラネタリウム座席全席取り換え リニューアルオープン！ 3月15日(土)

1月中旬から実施していた、プラネタリウム座席全席取り替え工事が完了しました。3月15日のリニューアルオープン記念式典には、約170名の方にご参加いただきました。座席数を350席から300席に減らし、よりゆったりくつろいでいただくことができます。さらに座り心地（眠り心地？）の良くなった座席で星空をお楽しみください。



### ★ シゴセンジャー春場所 3月21日(金・祝)～23日(日)

キッズプラネタリウムにシゴセンジャーが登場し、春の星空を舞台にブラック星博士とクイズで戦いました。パワーアップしたブラック星博士の子分にシゴセンジャーが苦しめられる場面もありましたが、無事星空の平和を守ることができました。てんもん工作コーナーでは、星座早見盤やぶんぶんごま工作をたくさんの方に楽しんでいただきました。



### ★ 日本プラネタリウム学会総会 3月22日(土)

日本プラネタリウム学会は、プラネタリウム投影中の「熟睡」についての研究を促進し、また眠らせたい人と眠りたい人相互の交流を図ることを目的とした学会です。3月22日に、平成25年度の総会を実施しました。活動・会計報告の他、規約改正の提案がされ、全件可決されました。



### ★ 座席リニューアル記念講演会 「光と水が奏でる空の唄」 3月29日(土)

KAGAYAさんは、豊富な天文知識と卓越したアートセンスで、宇宙と神話の世界を描くデジタルグラフィックアーティストです。今回、KAGAYAさんの初めての写真展を開催しました。また、特別開催と座席リニューアルを記念し、KAGAYAさんの講演会を実施しました。今回の特別展に出展された写真は、



KAGAYAさんが、子どもの頃からの夢を追って世界中を旅して出会い、奇跡的に撮影することができた美しい光景です。「奇跡は待つものではなく、少しでも可能性のあるところへ飛び込んで行くことです。」という言葉が、とても印象的でした。講演会終了後には、KAGAYAさんのサインを求める長蛇の列ができました。

### ★ 親子交流イベント 4月19日(土)

親子の交流を深めることを目的に、4月19日の「よういく（養育）」の語呂にちなんでイベントを実施しました。当日ご来館いただいた親子にはオリジナルクリアファイルをプレゼントし、こども天文教室やキッズプラネタリウムを楽しんでいただきました。午後からは、菅野松男さん（当館の元副館長）の親子天文講演会「夢を持とう ー新しい星を捜して30年ー」を実施しました。星と音楽のプラネタリウム「星空で聴く童謡の調べ」は、星空の中で聴く音楽を、お子様から大人の方まで楽しんでいただけるように、「夕焼け小焼け」や「大きな古時計」などの童謡を中心とした心優しい曲をお届けしました。



### ★ GWは天文科学館で思い出をつくろう！ 5月3日(土・祝)～6日(火・振)

ゴールデンウィーク期間中は、天文科学館内に期間限定の記念撮影スポットが登場しました。シゴセンジャーの写真パネルや、デジタルグラフィックアーティスト・KAGAYAさんの天体写真の巨大パネルの前で記念撮影すると、まるでその場にいるような雰囲気の写真が撮影できたのでは？また、宇宙服を着て宇宙飛行士になったような気分になれる撮影スポットも大好評でした。また、4階キッズルームでは、天文科学館ボランティア「天ボラ」が、春の空に見える「おとめ座」や「おおぐま座」の物語を紙芝居で紹介しました。今年の天文科学館のゴールデンウィークが、たくさんのお客様の素敵な思い出になれば幸いです。



〈広告〉

第4回

# 天文宇宙検定

試験日  
**2014年 10月12日(日)**

受験資格  
天文学を愛する方すべて。  
※ただし1級は2級合格者のみが受験可能です。

天文宇宙検定公式テキスト  
全国書店にて好評発売中！

2級 銀河博士 3級 星空博士

詳細はWebで  
<http://www.astro-test.org/>  
お問い合わせ先  
天文宇宙検定運営事務局  
☎ 03-3233-4808

実施エリア  
**東京・名古屋・大阪・福岡・沖縄** (各都府県)

主催 天文宇宙検定委員会 協力 株式会社厚生閣  
協賛 京都産業大学・株式会社セガトイズ・株式会社ビクセン・丸善出版株式会社  
後援 千葉工業大学・(公財)日本宇宙少年団・(財)日本宇宙フォーラム

天文宇宙検定委員会編 B5判  
本体各 1,500円+税 恒星社厚生閣刊

改訂版・7月発行予定

公式問題集(1～4級)  
7月発行予定!

天文宇宙検定  
公式モバイルサイト

## プレゼントコーナー ★「星空のレシピ」感想を書いて★ ★プレゼントに応募しよう!★

プレゼント 天文科学館ペアチケットを5組10名様に!

応募方法 ①本誌に関するご意見・ご感想など、②住所、③氏名をご記入の上、ハガキまたはFAXでお送りください。宛先は右図参照。FAX送信の場合は078-919-6000まで。  
※プレゼントの当選は発送をもってかえさせていただきます。応募者多数の場合は抽選となります。  
特集「時の記念日大研究」をはじめとする今号はいかがでしたか? 次号もどうぞ楽しみに!!

【締切】平成26年  
**7月28日(月) 必着**

ハガキおもて面	ハガキうら面	本誌の配布先
<p>切手 6730877</p> <p>明石市丸町2-6 明石市立天文科学館 「星空のレシピ 319号」 プレゼント係</p>	<p>① 本誌に関するご意見・ご感想</p> <p>② 住所</p> <p>③ 氏名</p>	<p>本誌は、天文科学館で配布しているほか、各市民センターやサービスコーナー等の市の施設、近隣の関係機関他（博物館・明石や神戸の医院・銭湯・観光ホテル・旅行社等）にも配布しています。</p> <p>次号は9月の発行予定です</p>

※FAXでの応募は、うら面の内容を送信

# 7月・8月のイベント案内

休館日のお知らせ	6	7	8
	日月火水木金土	日月火水木金土	日月火水木金土
赤文字：開館	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
青文字：休館			

### 天体観望会の申し込みについて

◆観望料 1人 300円 ◆電話番号 (078) 919-5000  
◆申込方法 開催日の1ヶ月前から前日までに電話又はHPからお申し込み下さい。 ◆定員 100名  
代表者の氏名・参加人数・電話番号・駐車場の利用の有無をお知らせ下さい。駐車場ご利用の場合は別途200円必要です。

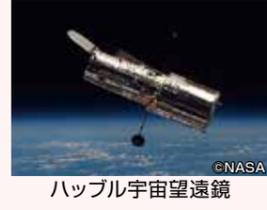
## プラネタリウム一般投影

解説員が、その日の夜に見える星空と、期間ごとのテーマにそったお話をわかりやすく紹介します。

**★南半球の天の川**  
7月1日(火)～7月31日(木)  
銀河系の中心方向にあるいて座が空高くに見える南半球では、ダイナミックな天の川の姿を見ることができます。南半球の星空を紹介します。



**★ハッブル宇宙望遠鏡が見た宇宙**  
8月1日(金)～8月31日(日)  
2014年に引退する予定のハッブル宇宙望遠鏡の活躍とともに、ハッブル宇宙望遠鏡が観測した色とりどりの天体の姿を紹介します。



## キッズプラネタリウム

幼児や小学校低学年を対象としたこども向けプラネタリウムです。

**★たなばたアワー** 6月3日(火)～7月6日(日)  
【平日】9時50分～/11時10分～、【土・日】11時10分～  
※6月10日は「時の記念日」のため、たなばたアワーはありません。  
たなばたの物語や、夏の星座、宇宙のお話を分かりやすくお話しします。

**★うちゅうわくわくツアー**  
7月12日(土)～8月31日(日)【土・日・祝】11時10分～  
※イベント等により内容を変更することがあります。

## こども天文教室

毎月第3土曜日の1回目のプラネタリウムです。小学4年生以上を対象とした天文教室です。

★7月19日(土) 9時50分～ 夏休みの天体観測

## プラネタリウムコンサート

“いい音楽を聴きながら、星空を見上げる” そんなちょっとした贅沢な時間をお楽しみ下さい。

**★セタコンサート** 7月5日(土)  
※コンサート終了後に天体観望会を行います(天候により中止)。

〈時間〉【開場】18:30 【開演】19:00～  
〈出演者〉VOCAL UNIT SAKURA  
(ソプラノとピアノによるヴォーカルユニット)  
〈チケット販売場所〉※前売り券制(800円)  
天文科学館・セブンイレブン明石市役所店・巖松堂書店(大久保駅前商店街)・明石観光案内所(明石駅構内)

## 特別展

**★たのしいとけい展** 6月7日(土)～7月13日(日)  
展示を見ることで、楽しみながら時計(時刻)に親しむことが出来る、幼児のための時計の展示。

**★さかなクンの研究室**  
7月19日(土)～9月7日(日)  
小学生の時に「タコ」と出会い、そこからお魚博士の道を歩み続けたさかなクンのライフステージをさかなクンのイラストやゆかりの品々を交えて紹介します。  
また「明石たこ大使」の活動についても紹介するとともに、宇宙に住むタコや魚などの想像イラストを小学生を中心に広く募集。その一部を展示します。

**★『宇宙に住むタコさん・お魚さん』『タコ型宇宙人』のイラストを募集**  
天文科学館夏休み特別展「さかなクンの研究室」で展示するイラストを5月1日から6月29日(必着)まで募集します。テーマと対象は以下のとおりです。

(1) 宇宙の海に住むタコさん・お魚さん(対象/小学生以上)  
木星の衛星エウロパや土星の衛星エンケラドスの表面を覆う氷の下には、海があると考えられています。地球以外の星に住んでいるかもしれないタコや魚の想像イラストを募集します。

(2) タコ型宇宙人(対象/小学生以下)  
昔から宇宙人と言えば、大きな頭にたくさんの足があるタコのような姿を思い浮かべます。あなたが思い浮かべるタコ型宇宙人のイラストを募集します。  
※詳しくは、応募用紙・ホームページをご覧ください。

## 星と音楽のプラネタリウム

素敵な生の音楽と星空をお楽しみいただくプラネタリウム特別投影です。

8月23日(土) 14時30分～ ※整理券制

## その他のイベント

**★シゴセンジャー夏場所** 7月19日(土)～21日(月・祝)  
こどもたちに大人気の軌道星隊シゴセンジャーがプラネタリウムドームに登場します。

- キッズプラネタリウム「軌道星隊シゴセンジャー」11時10分～ ※整理券制 2階プラネタリウムドーム
- てんもんクイズラリー「シゴセンジャー&ブラック星博士のクイズに挑戦」など



6月	7月	8月
6月1日(日)～6月29日(日) 「カレンダーと天文学」	7月1日(火)～7月31日(木) 「南半球の天の川」	8月1日(金)～8月31日(日) 「ハッブル宇宙望遠鏡が見た宇宙」
6月3日(火)～7月6日(日) 「たなばたアワー」	7月12日(土)～8月31日(日) 「うちゅうわくわくツアー」	
6月7日(土)～7月13日(日) 「たのしいとけい展」	7月19日(土)～9月7日(日) 「さかなクンの研究室」	
6月10日(火) 9:30～17:00 (入館は16:30まで) 「時の記念日無料開放」	6月21日(土) 14:30～15:20 「星と音楽のプラネタリウム」	7月19日(土)【予約制】19:00～(受付18:30～) 「土星・M13(ヘルクレス座の球状星団)」
	6月21日(土) 9:50～10:40【事前申込なし】 「星座早見と星の動き」	8月2日(土)【予約制】19:00～(受付18:30～) 「ベガ(織姫星)・アルタイル(彦星)・月・土星」
	7月5日(土)【前売券制】19:00開演(18:30開場) 「セタコンサート」	8月24日(日) 19:00～(受付18:30～) 「特別天体観望会」【予約制】 ベガ(織姫星)・M57(こと座のリング星雲)・アルビレオ(はくちょう座の二重星)など ～特別天体観望会への参加方法～ 開催日の3週間前までに往復はがきにてお申し込みください。1枚のはがきにつき1回の特別天体観望会、最大4名までお申し込み可能です。定員20名 参加費500円
	7月19日(土)・20日(日)・21日(月・祝) 「シゴセンジャー夏場所」	
	7月19日(土) 9:50～10:40【事前申込なし】 「夏休みの天体観測」	8月23日(土) 14:30～15:20 「星と音楽のプラネタリウム」

## 学校・園と力を合わせてこんなことしています!

天文科学館では、こどもたちの「夢」と「学び」を育むために学校・園と連携した事業や研修会を実施しています。その取り組みをご紹介します。

### 平成26年度科学技術週間イベント「天文科学館 一日館長」

4月14日(月)～20日(日)は「科学技術週間」、科学技術に関する普及啓発活動として、全国各地の科学館で様々なイベントが行われました。天文科学館では「科学館」により親しんでもらうために「天文科学館 一日館長」を4月20日(日)に行いました。明石市内小学校6年生を対象に募集を行い、応募者の中から谷八木小の藤田未央さん、錦浦小の上林日奈さんが選ばれました。来館したお客様にポスターを配ったり、キッズルームで紙芝居・クイズを披露しました。

一日館長のお仕事を終えて、藤田さんは「館長は、星を知ることができて、素敵な仕事だと思った」、上林さんは「館長は大変だけど、館長になるのが夢になりました。」と話してくれました。



「天文科学館 一日館長」の藤田未央さんと上林日奈さん

### 学校の日時計

明石は「ときのみち」といわれています。市内の多くの小学校には日時計があります。いくつか見てみると…



松が丘小学校



朝霧小学校



人丸小学校



中崎小学校

一日館長に応募して下さった明石市内小学校6年生の皆さん、協力して下さいました。また、学校の日時計を見ているのも、学校を違った方向から見る事ができるかもしれません。これからも、学校園が天文科学館を身近に感じてもらえるような取り組みをしていきたいと思ひます。